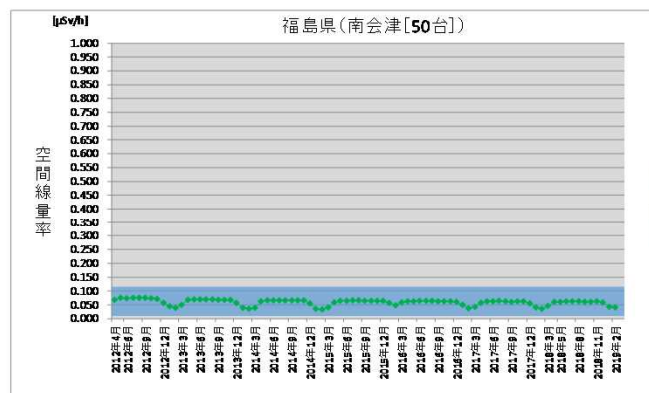
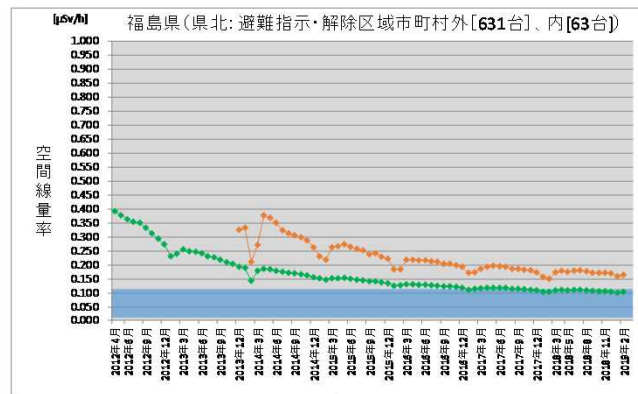
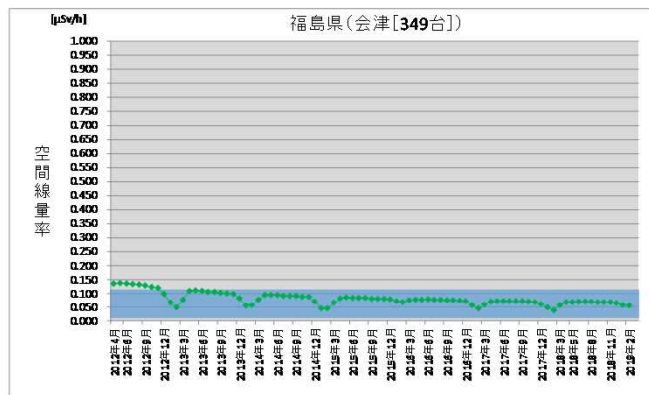


環境放射線モニタリングについて

- 東京電力福島第一原子力発電所事故後8年が経過し、避難指示・解除区域市町村(※)の中など一部の地域を除き多くの地点で、福島県内の空間線量率は十分に低いレベルとなり、時間的変動も小さく安定している。
(※)避難指示区域又は避難解除区域をその区域に含む市町村
(田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村の12市町村)
- 東京電力福島第一原子力発電所から半径80km圏内の航空機モニタリングによる地表面から1mの高さの空間線量率は、約77%の減少となっている。
(平成23年11月と平成30年10月で比較)
- 東京電力福島第一原子力発電所近傍海域における海水の放射性物質濃度について、全体的に減少傾向にある。
(※)Cs-134、Cs-137等は全て、法令で定める濃度限度(注)を下回る。
(注)法令に定める周辺監視区域外の水中の放射性物質の濃度限度
I-131:40Bq/L、Cs-134:60Bq/L、Cs-137:90Bq/L
- これらを踏まえ、放射線の状況に応じた環境放射線モニタリングを継続するとともに、モニタリング結果について、関係自治体その他の国内外への情報発信にも努めていく。

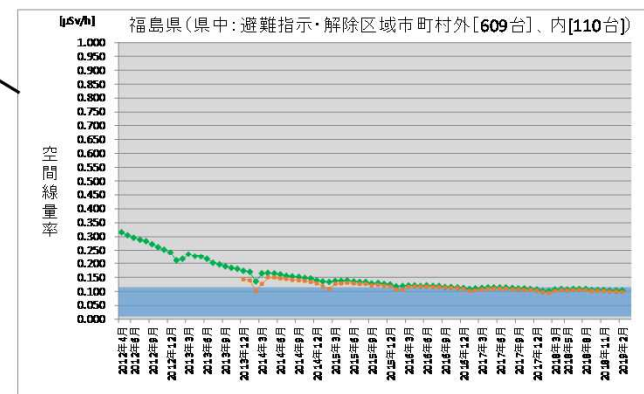
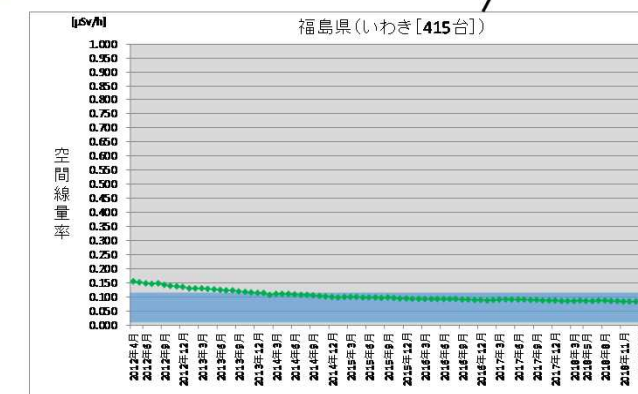
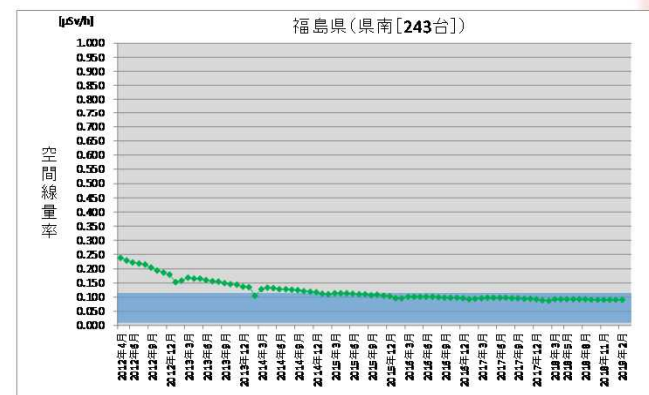
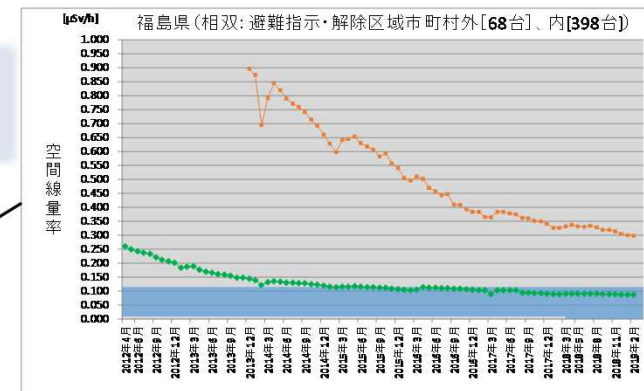


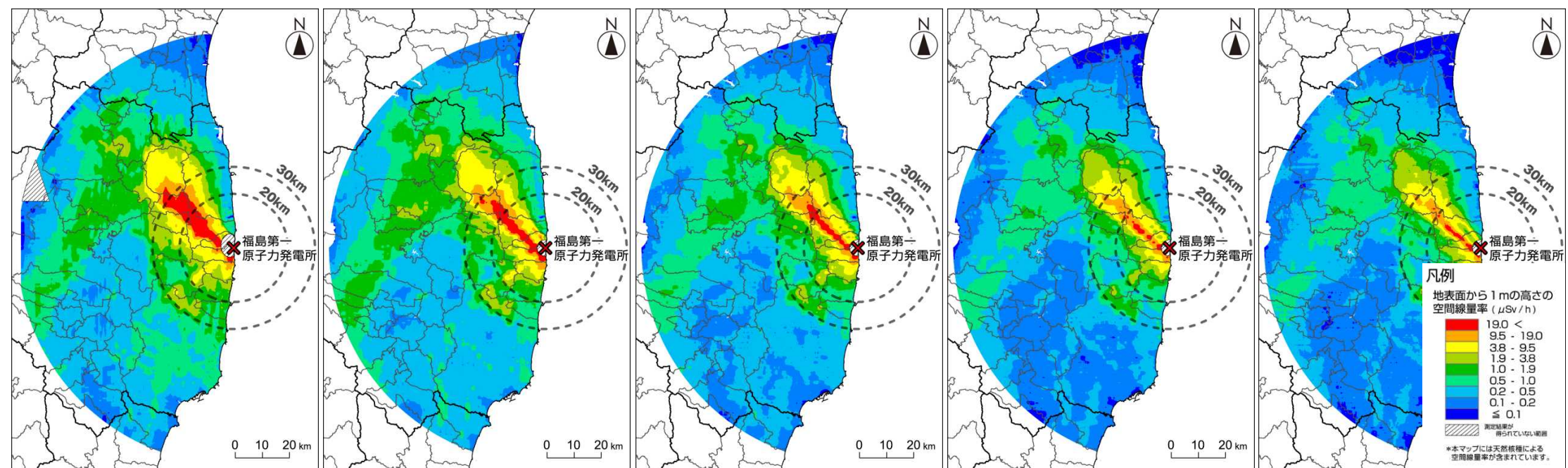
- 避難指示・解除区域市町村内
- 避難指示・解除区域市町村外

※10分値の1か月平均をプロット (期間: 2012/4/1~2019/2/28)
 ※台数は2019/2/28時点の台数。設置日の違いから時期による台数の増減あり。

事故以前の全国水準

※環境放射能水準の調査のために47都道府県に各1基設置されたモニタリングポストにおける1993/4/1から2010/3/31までの測定値(Gy=Svで換算)の一日の平均値の範囲





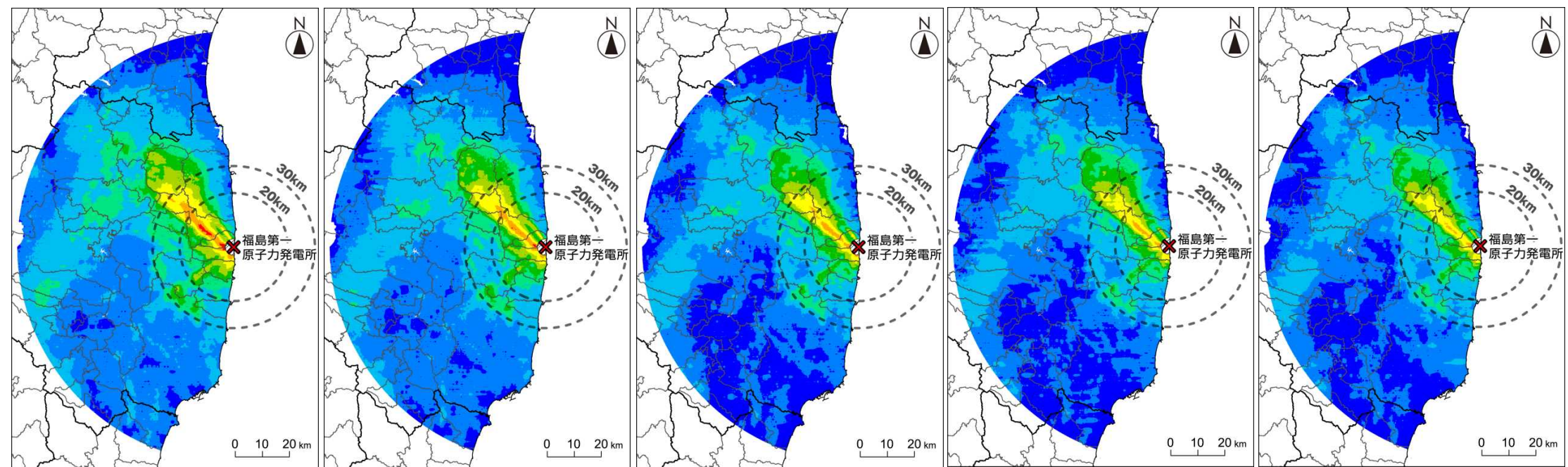
事故1か月後 (2011.04.29)

事故7か月後 (2011.11.05)

事故15か月後 (2012.06.28)

事故20か月後 (2012.11.16)

事故30か月後 (2013.09.28)



事故42か月後 (2014.09.20)

事故54か月後 (2015.09.29)

事故67か月後 (2016.10.15)

事故78か月後 (2017.09.25)

事故91か月後 (2018.10.16)

福島近傍・沿岸の海水の放射性物質濃度の推移

